



第126号 (季刊)
平成30年4月
田中野田町内会

<http://townweb.e-okayamacity.jp/tanakanoda/>



田中野田町内会長
和気 茂

今年も早々と、心うきうきとする春になり、入学、卒業、就職、退職また転勤など夢や希望を大きく膨らませて新たな環境へと一斉に動き出しました。

のことばが自然と発せられるのではないでしょう
うか。

応援させていただく側にも、大変さわやかさと
好感を与えてくれました。



さて、平昌五輪が去る2月25日に閉幕した。日本勢は、冬季で過去最高のメダル13個を獲得し、まさに「満開」の成果だったといえよう。

話題はかわりますが、この時期には、町内会運営の中で各種団体も含めた役員さんの改選が行われます。

雪辱を果たし、初の銅メダルを得たスキージャンプの、高梨沙羅選手は「たくさんの方に助けていただき、やっと取れた。その人たちの重みがある。みんなに感謝したい。」とコメントした。

町内会のみを例にとってみても、今年は1組～9組の内、偶数組の理事さんや、また、副会長1名の交代が予定されています。任期を全うされ、ここで退任される役員の方々は、当初、役員就任にあたっては住まい周辺での順番や前任者より頼まれて役員を受けておられたものと思います。任期中には家庭や仕事などの用事がある中で、毎月の配布物や会議への出席など、しっかりと任務を果たされ頑張ってくられました。あらためて「役目とはいえご苦労様です」という感謝の気持ちになります。


けがをのり越えて、感動的に金をとった羽生結弦選手は、「右足が頑張ってくれた。右足に感謝しかない」と本番で一番たよりにしている自分の右足に感謝。」とコメントした。

小平奈緒主将も百花繚乱を目標に掲げ、日本選手全員に感謝のことばを述べていた。

ここまでの任務によって培われた地域における「共助」の気持ちと役員の経験が、今後に役立つことがあれば幸いです。

「感謝への思い」は、人々はみんな置かれた立場やその時の状況によって違うと思うが、目の前の目標達成への責任感や、声援に応えなければどのプレッシャーを一身に背負いながら得た結果には、周りの声援や応援の輪が大きければ大きいほど、応えるコメントとして「まわりの方々に感謝」

また、新役員さんには、どうかよろしくお願
いたします。

平成30年度 田中野田町内会
通常総会のご案内
日時:平成30年4月22日(日)
19時～
場所:田中野田公会堂